

# たんぽぽだより

2018年 6月号



今年はまだ梅雨入りしたようですね。先日ゆり・さくら組で早岐茶市に行ってきました。「茶市ん風に吹かれりゃそんな年は風邪ひかん」と言われる400年続く早岐茶市【芋かりんとう】の試食をし、昼食は焼きそばと揚げたての天ぷら、子ども達みんなで作ったこいのぼりも見てきてきました。



お外で食べるお昼ご飯おいしいね。割りばし難しいけど自分でたべました。



6月は、長崎県では『いのち』について考える月間です。

たんぽぽの保育目標の「いのちをたいせつにする」こと。まずは自分自身のいのちを大事にしてくださいと入園の際にお話ししましたが、以外に子育てをしていると、自分自身のいのちを大事にすることを忘れていませんか？

自分のいのちを大事にするとは、お母さん・お父さん自身が生き生きと・楽しく過ごしている事だと思います。子ども達は大好きな人のことを良〜く見えています。お母さん・お父さんがつらそうに生きていくと「大人になってもつらい事ばかりなんだ」と無意識に感じ取ります。

それでは大人になりたくない・大きくなりたくないと思ってしまうかもしれません。でも「楽しいな」「幸せだな」という姿を見せて行く事で、子ども自身の未来が明るくなります。

子ども達に明るい未来を見せるためにも、自分のいのちを大事にして、楽しい・嬉しい事をたくさんしていきましょう。子ども達にとってもそれが幸せを感じる事だと思います。

## お願い

汗をかくので昼寝時に着替えをします。着替えには下着も多めにお願いします。Tシャツより下着の方が汗を吸います。(記名をお願いします)

さくら・ゆり組：雨の日に長靴と傘、レインコートを持たせて下されば雨を感じる時間を持ちたいと思います。

もも組：雨上がりにはお散歩します。長靴の準備をおねがいます。

保育サロン  
たんぽぽ

## 今月の目標：いのちをありがとう

**ねらい：雨の日ならではの自然の様子、生き物に興味を持つ。雨の日もたのしもう。**

もも組【1歳児】：梅雨ならではの自然に触れて味わう。保育者に見守られながら、友だちと関わる楽しさを知る。

ゆり組【2歳児】：いのちをありがとう～いろいろなものに感謝してありがとうがいっぱいいえるようになろう！

さくら組【3歳児】：身近な生き物や植物にふれ、命の大切さに気付く。梅雨ならではの自然に関心を持ったり、室内で体を動かす遊びを楽しむ。

## 6月の保育内容

### 養護

もも組：保育者に誘われてトイレに行き、排泄のタイミングが合うようにしていく。室内で遊ぶとき、様々な玩具に興味を持ち保育者、友達とかかわりながら遊ぶ。

ゆり組：食事や排泄、午睡が安心してできるよう、一人一人に合った対応をして、快適に過ごせるようにする。要求や不安を保育士に受容してもらい、安心して自己が表せるようにする。

さくら組：環境の変化に不安を感じることもあるので、一人一人の発達状態を十分把握し、適切な援助をする。できる事は多少時間がかかっても、優しく見守り自信につなげていく。

### 教育

もも組：梅雨ならではの動植物に興味を示したり、自分の好きな絵本を、読んでもらう事を喜んだりする。

保育士や友達と楽しい雰囲気の中で食事をし、正しい姿勢でスプーンやフォークを使う。

ゆり組：一人一人の健康状態を把握し、食事、睡眠、排泄などそれぞれのリズムにあった生活ができるようにする。

子供同士の関わりを大切に見守り、保育士が仲立ちとなれるように配慮する。

梅雨時期ならではの季節感のある遊びを取り入れる。したいことしてほしいことを言葉で伝えようとする。好きな歌を歌ったり曲に合わせて体操や体を動かして表現したりして遊ぶ。楽しい雰囲気の中で食事をする。

さくら組：その日の気候や体調に合わせた、快適な過ごし方を知って、梅雨ならではの身近な自然に親しむ。

友達の思いを知り、意見を取り入れて、さらにあそびを深めていく。

畑で育てている野菜を観察して、様々な食材に興味を持てるようにする。

絵本などで歯磨きの重要性を知り、楽しく行えるようにする。

おしらせ：苦情等は、ありませんでした。